

塩尻市の 全世代対応型支援体制整備事業 ～包括的な支援体制の構築～

八ヶ岳中信高原国定公園の高ボッチ高原
から北アルプスを望む

地域における現状と課題

◆ 困難の複雑化・複合化

生活困窮、孤独・孤立、ヤングケアラー、8050問題 など
→ 困りごとの原因が複雑化・複合化



◆ 孤立化・潜在化

地域からの孤立 = 課題が見えにくい
困っていることを表に出さない = 課題を抱えながらも支援を求めない
家族に頼れない
→ 近隣関係の希薄化、家族関係の脆弱化

◆ 地域の支え手の不足

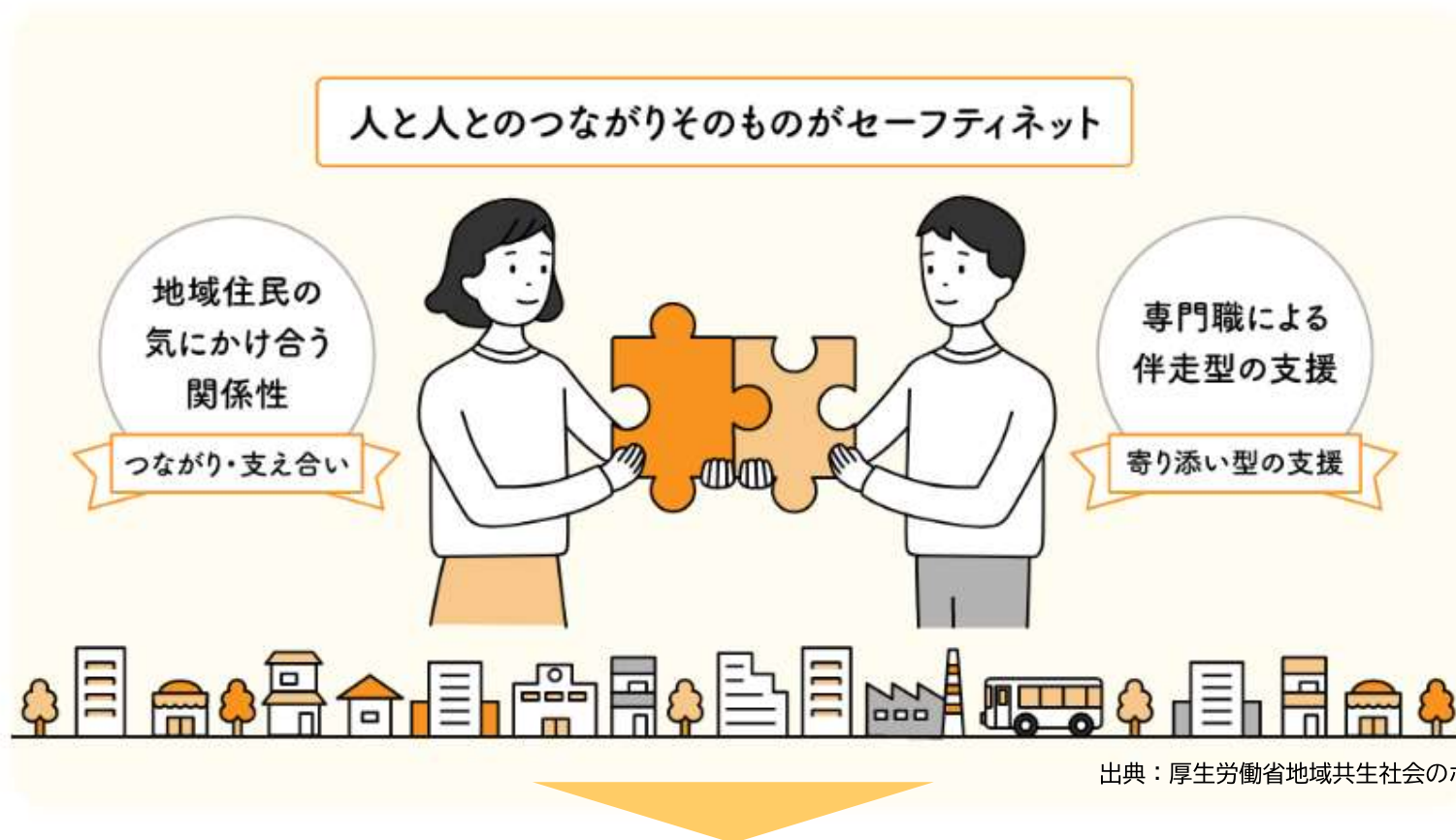
少子高齢化
社会構造の変化（定年延長、多様な働き方 など）
→ 地域コミュニティの機能低下

地域や人との「つながり」の希薄化

つながりを回復するために

高齢化の中で人口減少が進行している日本では、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。

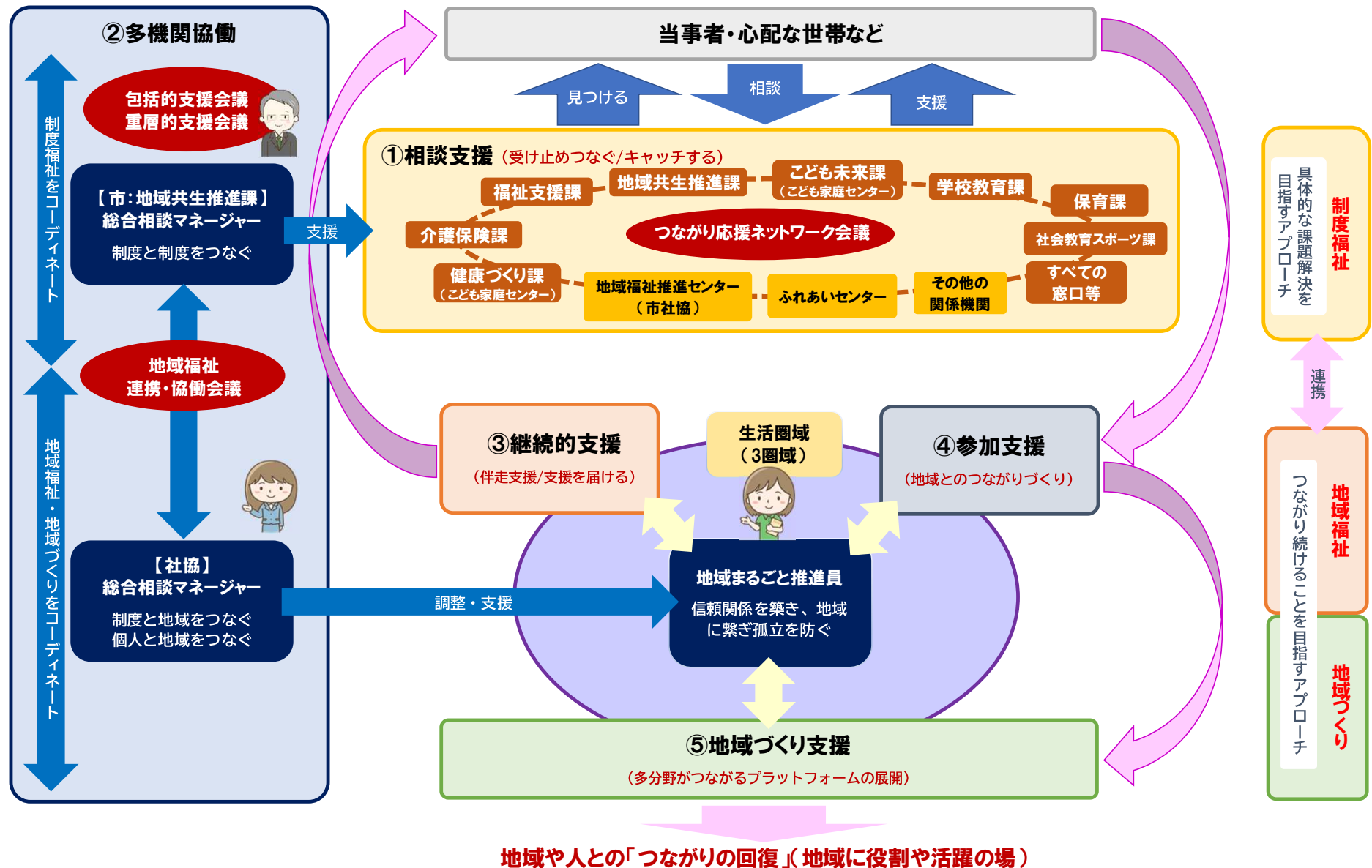
人口減による担い手の不足や、血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、
人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。



地域や人とのつながりの回復（孤立させない）

誰一人取り残さない支援の仕組み

全世代対応型支援体制整備事業



全世代対応型支援体制整備事業における役割

総合相談マネージャー (市)

多機関協働の中核を担い、複雑化・複合化した課題を整理、調整するなど、相談支援機関を支援する。また、重層的支援会議、包括的支援会議、つながり応援ネットワーク会議を主催する。（多機関協働）
本事業の全体を調整及び推進する。

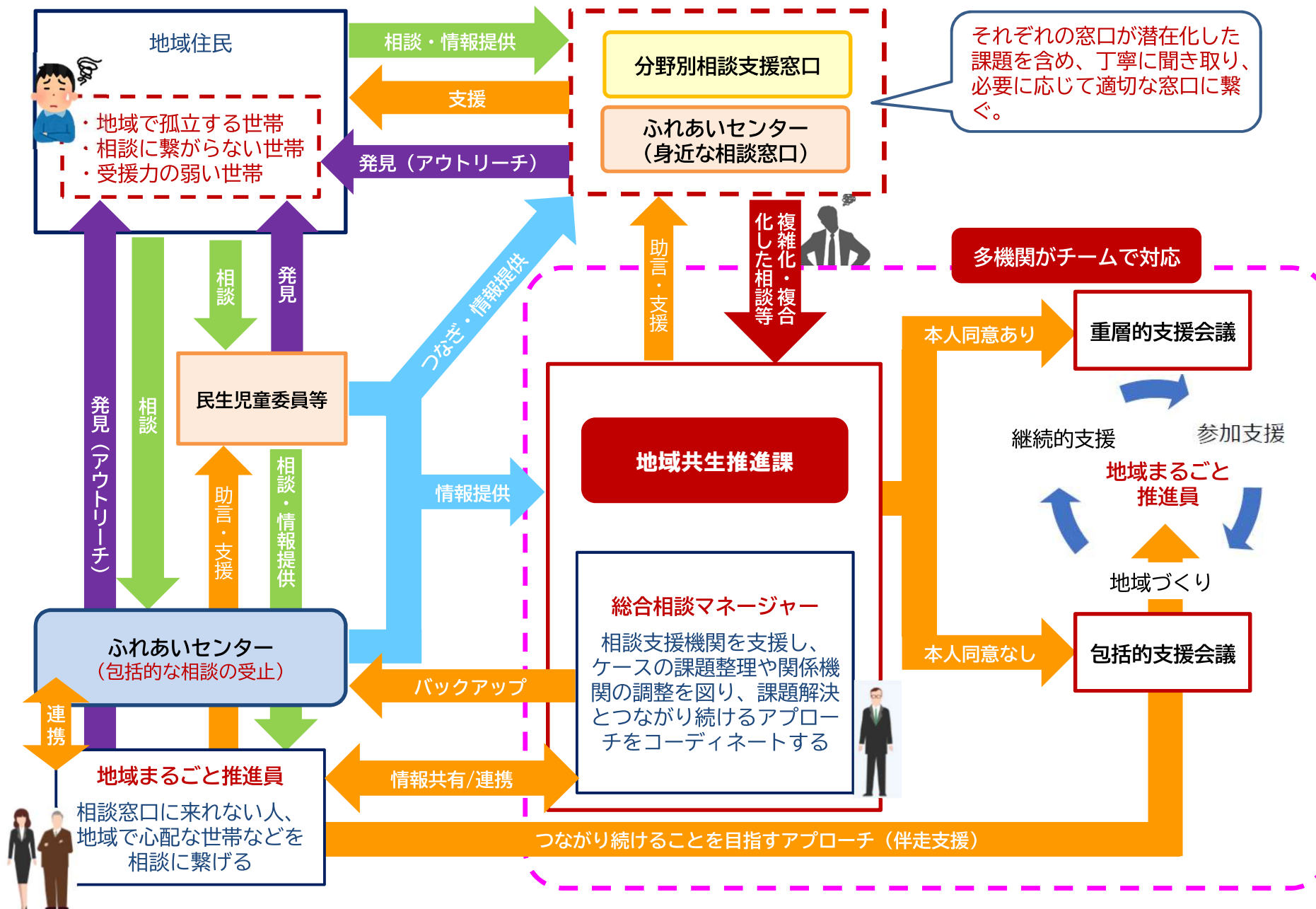
総合相談マネージャー (社協)

地域福祉推進員が実施する「アウトリーチ等を通じた継続支援」「参加支援」「地域づくり」のそれぞれの取組について、連携して支援する。
市の総合相談マネージャーと連携して、本事業を推進する。

地域まるごと推進員 (地域福祉推進員兼 第2層生活支援コーディネーター)

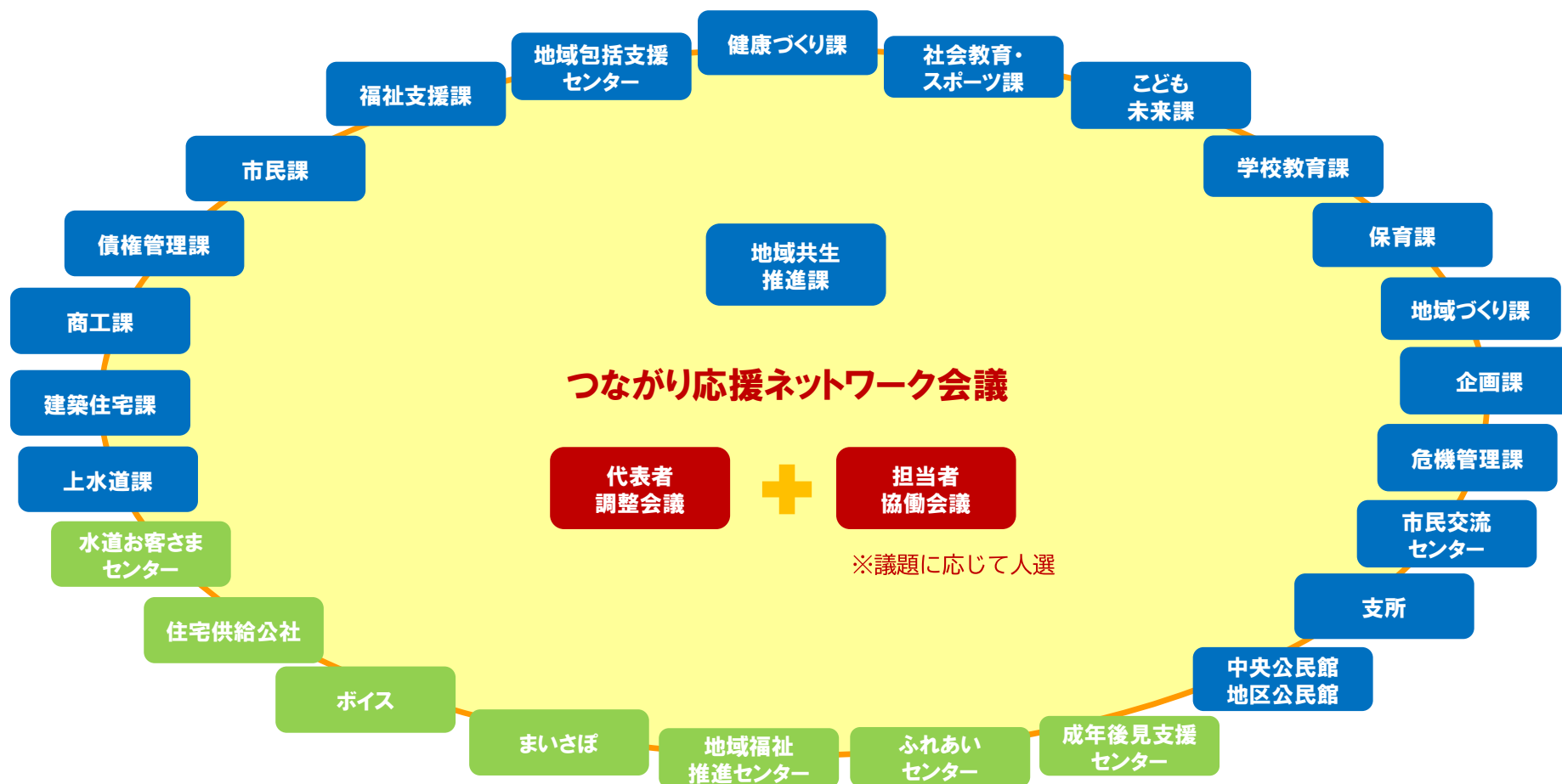
相談支援機関や民生児童委員等の地域の関係者との連携を通して、潜在的なニーズを抱える対象者等を把握し、家庭訪問など関係性の構築に向けた支援を行う。（アウトリーチ等を通じた継続支援）
対象者等のニーズや課題を把握し、支援メニューの作成及びマッチング並びに定着の支援を行う。また、既存の社会資源の把握や拡充、新たな社会資源の開発を行う。（参加支援）
世代及び属性等を超えて多分野がつながる交流の場や居場所を確保するとともに、市民等による既存の取組の継続を支援する。また、分野や領域を超えて地域の多様な主体がつながるプラットフォームの形成を目指す。（地域づくり）

全世代対応型支援体制整備事業における相談支援の流れ



多機関協働のための庁内・関係機関のネットワーク

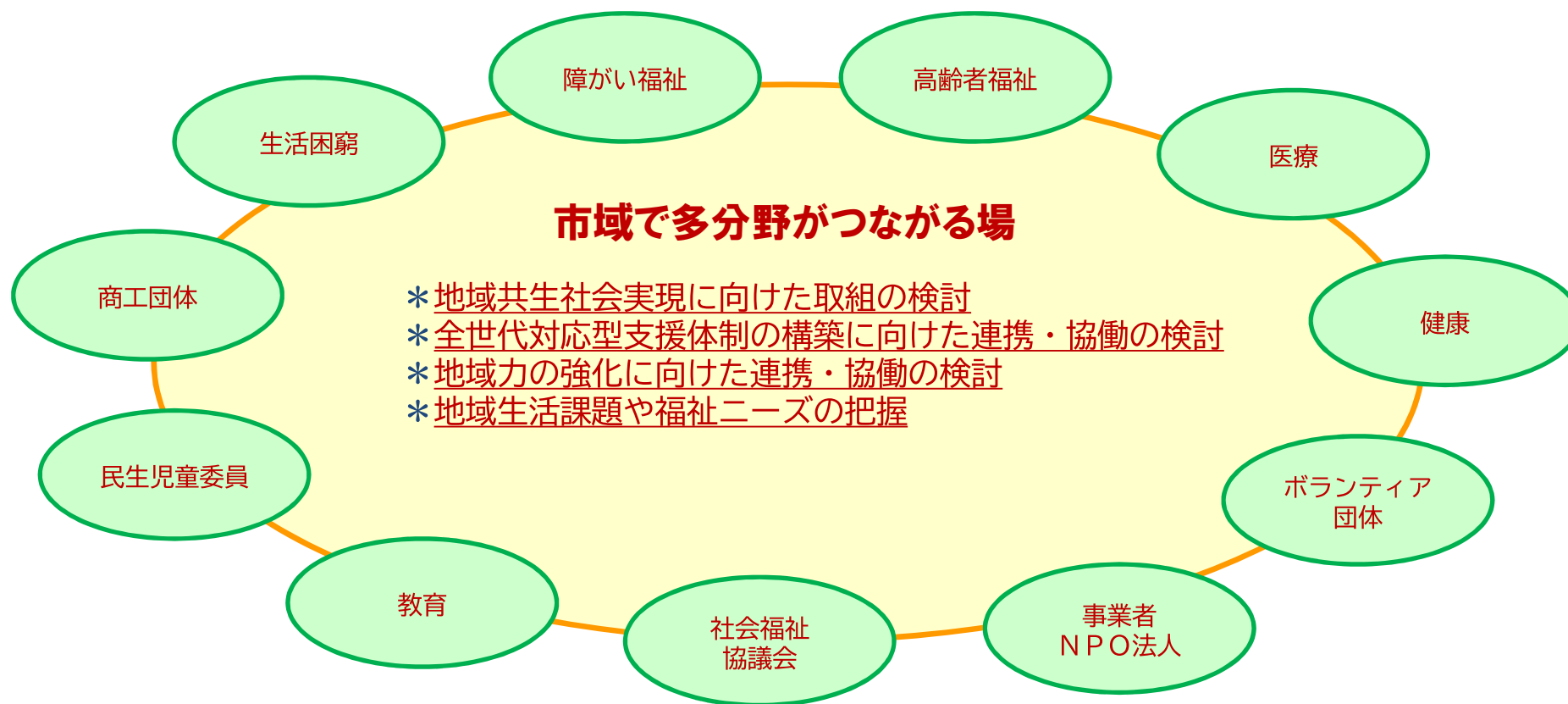
- ◆課題や困りごとを抱え、支援が行き届いていない世帯等を早期にキャッチし、支援に結びつけるネットワーク
- ◆多機関が協働して地域生活課題の解決を図るネットワーク



多分野(異業種)連携のネットワークの構築

多分野(異業種)が結びつくことで、新たな化学反応(取組等)を促す

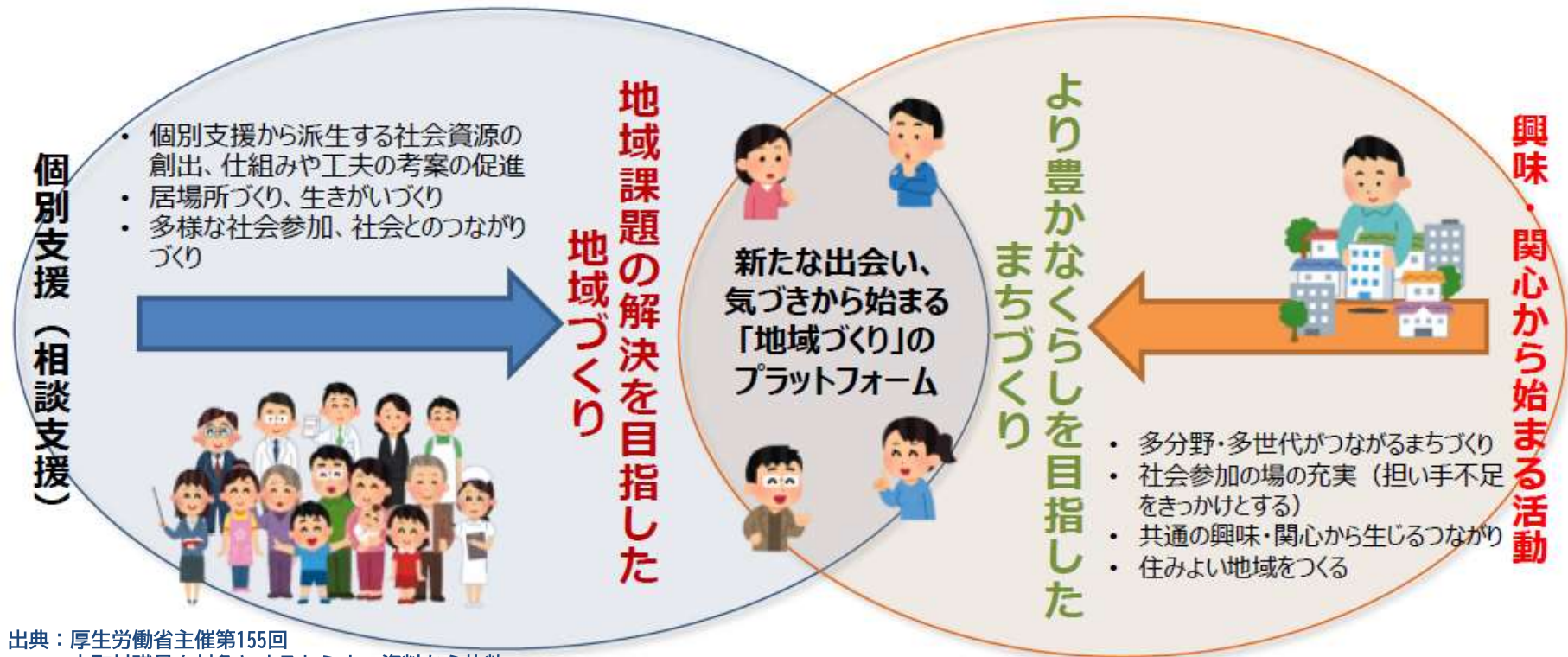
地域福祉推進協議会



多様な主体による地域活動の展開

福祉サイドからのアプローチ

まちづくり/地域創生サイドからのアプローチ



重なりをつくる(つながる)

地域福祉/地域づくり支援

総合相談マネージャー
地域まるごと推進員

公民館事業/まちづくり事業

地域活動/自主活動
支所/地区公民館



地域共生社会の実現に向けたありたい姿

ゆるやかなつながりと、感謝が循環する「お互い様文化」で暮らしを支え合い、
困りごとの解決に寄り添えるまち

第四次塩尻市地域福祉計画のありたい姿



第四次塩尻市地域福祉計画から